

■特長

- 1) 軽量で耐寒性に優れています。
- 2) 食品衛生法に適合（厚生労働省 告知 第595号）
- 3) 耐蝕・耐薬品性に優れています。
- 4) 耐衝撃に優れています。

★使用温度：軟質PE(低密度)については60℃以下でご使用ください。
尚、50℃以上の使用に於いては内圧のかからない状態でご使用ください。

改正RoHS指令10物質対応品

※追加規制4物質に関しては、2019年7月22日以降製造分より対応しております。

■改正RoHS指令10物質～意図的に使用していない原料で製造しております。(色 - 原色)

電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限指令(EU)

- ・カドミウム及びその化合物 ・鉛及びその化合物
- ・水銀及びその化合物 ・六価クロム化合物
- ・PBB(ポリ臭化ビフェニル) ・PBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル)
- ・DEHP(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)) / [DOP(フタル酸ジオクチル)]
- ・BBP(フタル酸ベンジルブチル) ・DBP(フタル酸ジブチル)
- ・DIBP(フタル酸ジイソブチル)

■ポリエチレン樹脂物性参考表 (軟質・低密度)

項目	試験法	単位	参考値
密度	JIS K7112	g/cm ³	0.919
曲げ弾性率(1mm/min)	JIS K6922-2	MPa	130
デュロメータ硬さ	JIS K7215	HDD	51
ピカット軟化温度	JIS K7206	℃	91
脆化温度	ISO 974	℃	<-70

※上記数値は参考値であり保証値ではありません。
※記載内容は改良のため予告なしに変更することがあります。
※圧力のかかる場合は、耐圧ホース(ブレード入等)をご使用下さい。



ご使用に際しては必ず用途、使用条件等をお問合せ下さい。又、実用テストによるご確認をお願いします。

ポリエチレンパイプ
掲載商品の色は印刷の特性上実物とは異なる場合がございます。

■規格寸法表

★軟質ポリエチレンパイプ(原色) 低密度PE

寸法 内径×外径(mm)	定尺 (m)	寸法 内径×外径(mm)	定尺 (m)	寸法 内径×外径(mm)	定尺 (m)
2×4	200	8×10	100	16×21.5	120
3×5	//	8×11	//	19×23	100
4×6	//	8×12	//	21×27	120
5×7	100	9×11	//	25×31	50
5×8	//	9×12	//	28×34	90
6×8	//	10×13	//	32×38	50
6×9	//	10×14	//	35×42	90
6×10	//	12×15	//		
7×9	//	13×17	//		
7×10	//	15×18	//		

製品の仕様は改良などにより予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■耐薬品性(一般ポリエチレン材料について)

◎：全く、あるいはほとんど侵されない。○：若干作用を受けるが、条件による。

△：作用を受けるので、実用には好ましくない。×：侵されるので、使用には適さない。

RT：室温の略

耐酸・耐アルカリ性	抵抗性	耐ガス性	抵抗性	耐油性	抵抗性
王水	×	アンモニア	◎	液化石油ガス	○
クロム酸 25% RT	△	炭酸ガス	◎	ベンジン	△
硫酸 10% RT	◎	塩素(乾)	△	ガソリン	○
// 98% RT	△	塩素(湿)	△	ケロシン	×
// 発煙 RT	×	水素	◎	燃料油	×
硝酸 10% RT	◎	天然ガス	◎	石油	△
// 61% RT	△	窒素	◎	潤滑油	△
// 発煙 RT	×	酸素	◎	グリース	△
塩酸 10% RT	◎	オゾン	△	動物油	◎
// 38% RT	◎	水蒸気 150℃以下	△		
酢酸 50% RT	○	水蒸気 150℃以上	×		
シュウ酸	◎	亜硫酸ガス	○		
水酸化ナトリウム 10% RT	◎				
// 30% RT	◎				
// 30% 70℃	○				
水酸化カリウム	◎				
水酸化カルシウム	◎				
液体アンモニア	◎				

※この表は文献から引用したデータです。材料そのものの耐薬品性を表すものであり、製品を判定するデータではございません。

また、表の記載内容はあくまでも目安であり製品の耐薬品性を保証するものではありません。

※本耐薬品データは、製品の使用条件、環境等により、判定基準が◎、○であっても適さない場合もございます。

ご使用する際は必ず同製品を用いた実用実験を行い、確認した上で使用下さい。